



MONET社組込み機器向け差分アップデートソフトウェア
「RTPatch for Windows Embedded バージョン11」をリリース

～差分アップデートで時間とコストを削減～

サーバ暗号化ソフトVPDisk、ログ監視ソフトHUNTSMANの日本代理店である(株)MONET(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:前野泰章)は、米国ポケットソフト社(本社:米国ヒューストン 社長:ウイリアム・ワイズ)のデータ・アップデート・ソフトウェア「RTPatch for Windows Embedded バージョン11」をリリースしました。

携帯電話やゲーム機、デジタル家電、カーナビゲーション、POS端末などの組込み機器で稼働するソフトウェアは、年々複雑かつ巨大化してきています。また開発サイクルの短縮化や品種の増大が進む一方、セキュリティホール対策など、迅速かつ低コストでアップデートを行う必要性が益々重要になっています。アップデートデータ量を大幅に削減する事が、配信時間とコストを圧縮し、TCOの削減、さらには競争力強化に繋がります。

RTPatchはデータやプログラムをアップデートする際に、旧バージョンからの変更箇所をバイナリレベルで抽出して差分パッチを作成します。バージョンアップを差分パッチで行うことで、プロセスを簡略化すると同時に、最新版の配信コストを激減させます。この際、差分パッチのサイズはオリジナルデータの最大99.9%までの削減が可能です。

主要なOSやアンチウイルスソフトウェアなどでは、差分による自動アップデートが既に一般的ですが、RTPatchはその多くに標準採用されており、事実上のディファクトスタンダードとなっています。RTPatchは、これらと同様のアップデートの仕組みを組込み機器においても簡単に実現するフレームワークを提供します。

商用ソフトウェア、自社内開発アプリケーションやオンラインゲーム、カーナビをはじめとする組込ソフトウェアなど、国内外で幅広い実績をもつRTPatchは、今回のリリースでWindows Vistaへの対応強化と、コマンドオプションの充実が図られました。

組込みソフトウェア向けRTPatchには、Windows版の他に、Linux版とVxWorks版が用意されています。

■「RTPatch for Windows Embeddedバージョン 11」

新機能

- Visual Studio 2005 用の新しいソリューションとワークプレース
- 新しいパッチ作成(Build)の「再帰」コマンド
- 履歴パッチ(ヒストリー・パッチ)の強化
- 新しいパッチ作成(Build)時のコマンド IGNORECKSUM

標準価格

オープン価格

動作環境

パッチ作成(Build)のO/S: Windows 9x, Me, NT4, 2000, XP, 2003, Vista, 2008

パッチ適用(Apply)のO/S: Windows Embedded ファミリ

■MONET社について

(株)MONETは、セキュリティおよびネットワークのソリューション・プロバイダーとして2002年12月に設立されました。海外の優秀なベンダーとのパートナーシップを中心に、セキュリティ関連のソフトウェアの販売、コンサルティング事業を推進しています。RTPatch以外の取扱製品として、大容量データ差分抽出ソフトウェアのdfc-gorilla(米国PocketSoft社)、サーバ暗号化ソフトウェアVPDisk(米国Protegrity社)、統合型ログ監視・分析ソフトウェアHUNTSMAN(豪州Tier-3社)があります。

■ポケットソフト社について

ポケットソフト社(本社:米国テキサス州ヒューストン)は、1986年に創立されました。

以来、バイトレベルのパッチングシステムの先駆者として業界をリードして参りました。現在では、あらゆる主要PC、ワークステーション、ミッドレンジ、そしてメインフレームに RTPatch を提供しています。コアアップデーティング技術を継続的に研究し、製品の安定供給、機能アップグレードおよび関連新製品の開発をおこなっています。

お問合せ先

株式会社MONET

ソリューション事業部 営業部

東京都千代田区外神田4-7-5 石川興産ビル4F 〒101-0021

TEL : 03-5256-5171 FAX:03-5256-5172

Email : info@monetz.com

H P : www.monetz.com

*本文中の会社名および製品名は、各社の登録商標または、商標です。